

# 女性組織を中心とした活動再開の取り組み

令和6年2月21日(水)

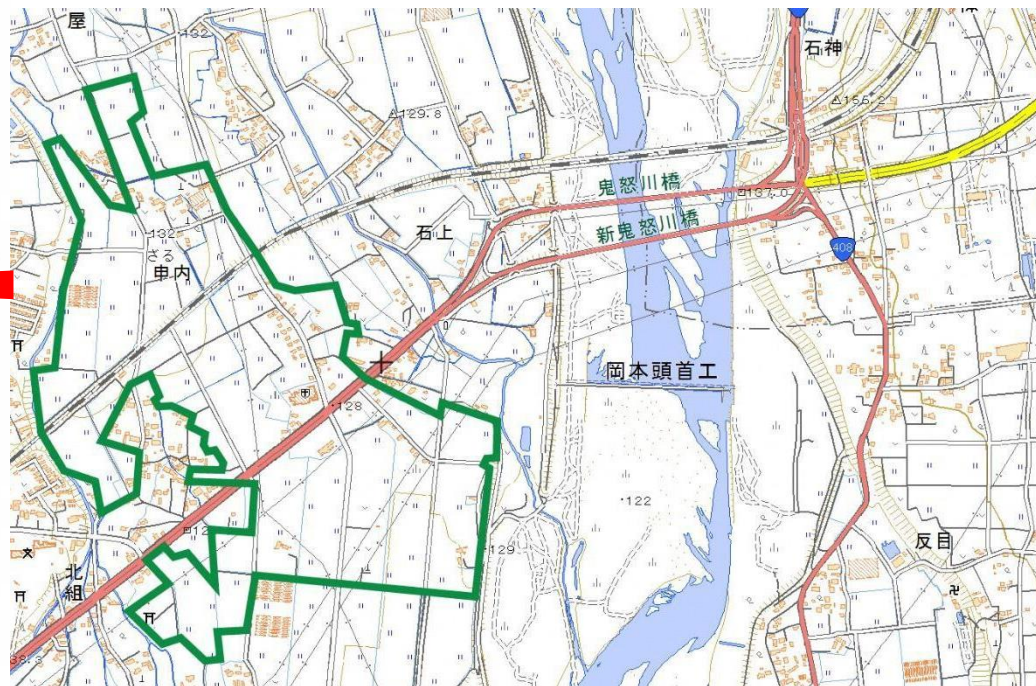


宇都宮市申内環境保全会  
事務局長 相良 律子

# 1. 地域の概要

宇都宮市の東部に位置し、ほ場整備後の恵まれた条件、環境の中で営農を行っていますが、他産業への兼業化や非農業者の混住化も進んでいます。

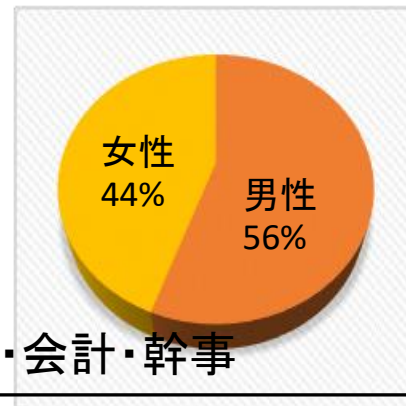
平成10年度に圃場整備が完了しましたが、近年農業用施設の老朽化や水路の土砂堆積が、目立ち始めています。前組織『申内みどりのさと保全会』活動の中でほぼ実施できていましたが、高低差のある排水路や、取り組み面積以外の水門が、私達地域にも関係することから面積拡大を図り、水門管理にも携わっています。



## 2. 活動組織の概要

### 【組織の概要】

- ・ 取組面積:73.8ha (田73.3ha、畑0.5ha)
- ・ 資源量:開水路 17.2km 農道 7.5km
- ・ 実施内容:農地維持支払、資源向上支払(共同活動)
- ・ 交付金額:約4百万円
- ・ 構成員:69名(農業者:30名、非農業者:39名)
- ・ 構成役員:9名(男性5名、**女性4名**)副会長・事務局長・会計・幹事



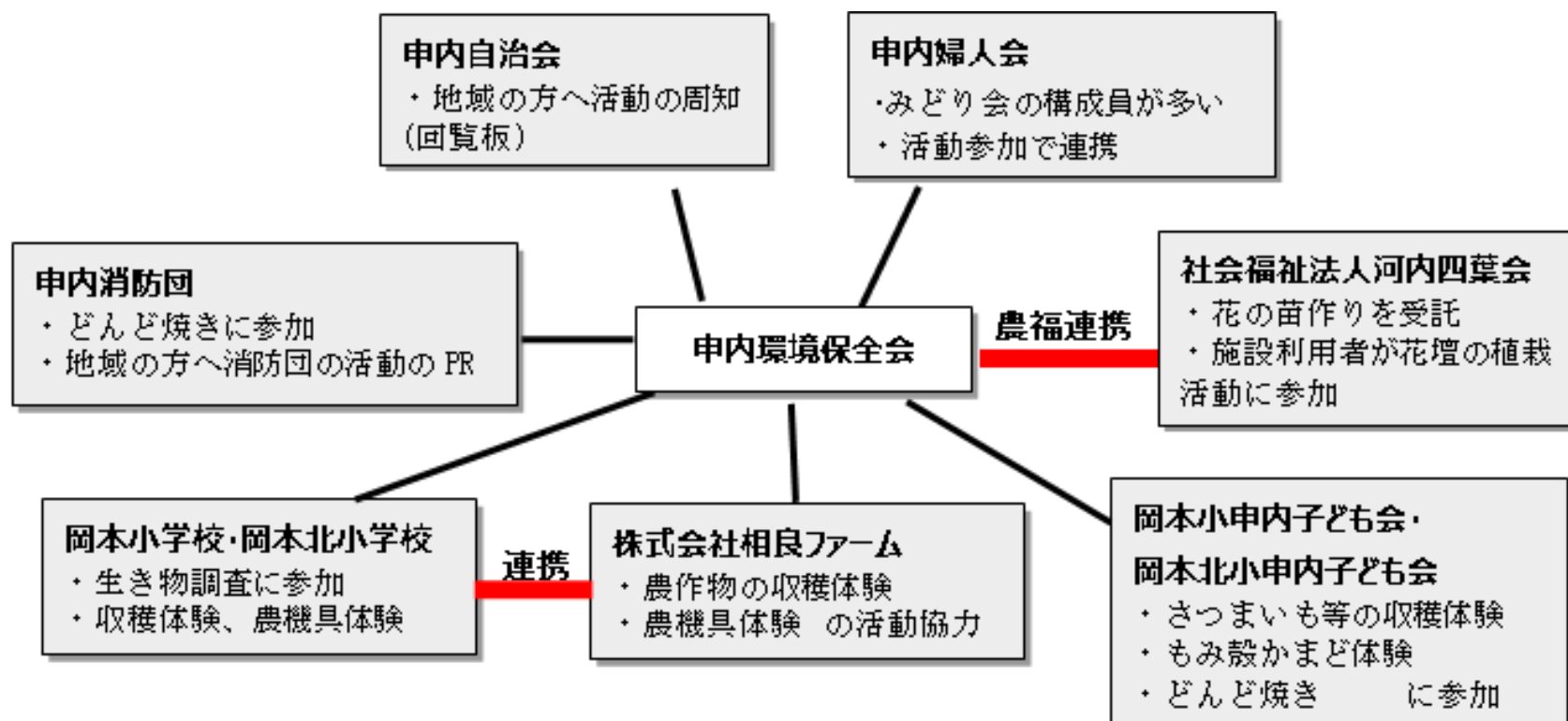
### 【組織立ち上げの経緯】

- ・ 当該地域は、平成20年度～24年度まで、古き良き農村の自然環境を守っていくことを目的に、『申内みどりの古里保存会』を立ち上げ、農業用施設の補修や植栽などの共同活動を実施していた。この時には女性の役員はおらず、女性組織の役員1名が役員会に出席していましたが、意見を述べる事ができない状況でした。
- ・ 農業用施設の補修が十分に実施できたこと、また、次に引き継ぐ役員の後継者がいなかったこともあり、**活動を一旦休止**した。
- ・ 農家、農村地域を守っていくには、やはり共同活動を再開する必要があるだろうという機運が女性組織を中心として高まり、平成27年度に『申内環境保全会』を設立し、**活動を再開**し、現在では**女性役員を中心に会を運営**している。
- ・ 又月一回の定例会を開催し活動の活性化を目指しています

## 2. 活動組織の概要

### 【主な活動】

- ・ 地域資源の適切な保全管理の為の活動
- ・ 地域の景観形成のための植栽活動(彼岸花ロード、花壇)
- ・ 小学校、子ども会との連携(生き物調査、校外授業、農業体験)
- ・ 社会福祉法人との農福連携
- ・ 地域住民との交流



## 3-1. 取組状況（農地維持支払）

### ○地域資源の基礎的な保全活動

非農家を含め地域全体で水路の泥上げや草刈り、水利施設の掃除・点検に取り組んでいる。草刈りについてはハンマーモアを活用し効率化を図っている。

組織の活動方針や地域資源の保全管理の方法等について住民を交えて話し合いを実施している。



草刈り風景



水門の清掃・点検



用水路の堀さらい



地域住民を交えた話し合い

## 3-2. 取組状況（資源向上支払（共同））農村環境保全活動

### ○農村環境保全活動①【生物の生息状況の把握】

小学生を対象に、田んぼまわりの生き物調査を実施し、生物の生息状況の把握を行っている。



生き物調査風景



### ○農村環境保全活動①【植栽等の景観形成活動】

散歩コースとなっている農道への花壇の設置、近隣の組織と連携して彼岸花ロードを保全する活動を実施している。



農道沿いの花壇



彼岸花ロード

## 3-2. 取組状況（資源向上支払（共同））啓発・普及活動

### ○啓発・普及活動【地域の小学校及び子ども会と連携した取組】

小学生を対象に、さつまいも、じゃがいも、アスパラガスの収穫体験や、玉ねぎの定植、もみ殻を使ってご飯を炊くかまど体験を実施するほか、トラクター等の農機具に試乗する体験を行うなど、農村文化に触れてもらう機会を提供している。



子供会と連携した農業体験風景



玉ねぎの定植



小学校と連携した収穫体験

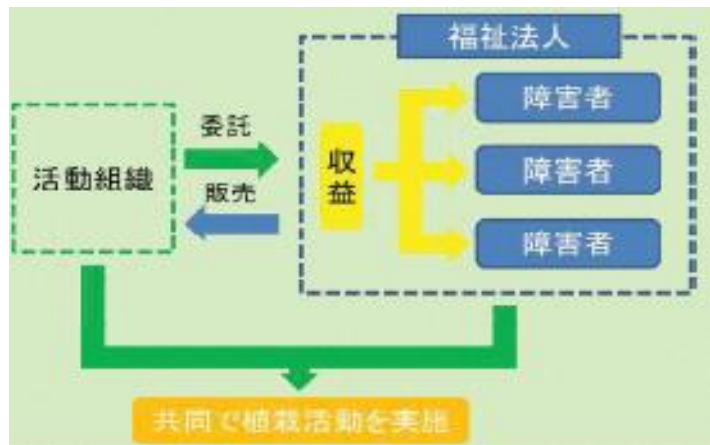


トラクター試乗体験

## 3-2. 取組状況（資源向上支払（共同））増進活動

### ○多面的機能にかかると増進活動②【農福連携の取り組み】

組織が社会福祉法人へ花の苗作りを委託し、法人と協力して、施設の利用者等と一緒に植栽活動を行っている。



農福連携の流れ



福祉法人と連携した植栽活動



福祉法人と連携した植栽活動参加者



花壇の様子



## 3-2. 取組状況（資源向上支払（共同））増進活動

### ○多面的機能にかかると増進活動②【農村文化の伝承】

平成30年から、30年ぶりにどんど焼きを復活させ、開催している。

子どもたちと一緒に繭玉を作り、五穀豊穡を願うお焚き上げを行うことで、農村文化に親しむ機会を創出し、農村と都市との交流に積極的に取り組んでいる。

申内自治会は435の世帯があり、新しい住宅の開発も進んでいるため、地域の関係性の強化や居場所づくりの一つとして重要な役割を果たしている。



子供達との繭玉づくり



どんど焼き

### 3-3. 取組状況（資源向上支払（長寿命化））

#### ○長寿命化に係る水路の補修

施設の点検を実施、計画的に施設の更新・補修を地域住民の直営施工により実施している。



### 3-3. 取組状況（資源向上支払（長寿命化））

#### ○長寿命化に係る排水路の泥上げ

高低差のある畦畔の為30cmほどたまった泥上げ。人力では大変なため構成員の重機を借り上げ実施。



## 4. 活動の成果と今後の目標

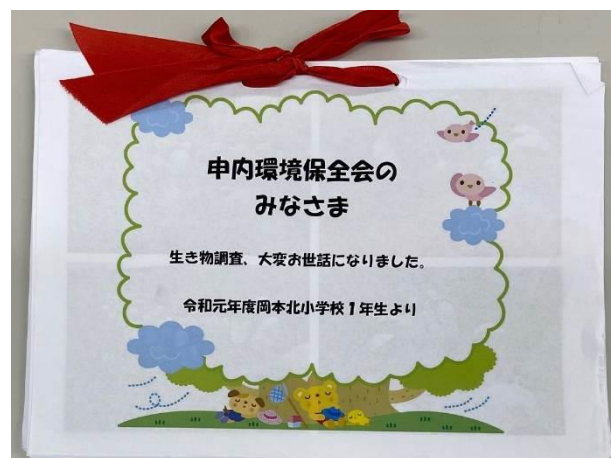
### ○活動の成果

- ・ 参加者の増加  
⇒ 活動への参加が強制されないこと、女性役員が多く参加しやすい雰囲気であることから、共同活動への参加者が増加した。
- ・ 取組の増加  
⇒ 女性役員の発案により、小学校や子ども会との交流が活性化されたほか、新たに農福連携の取組を始めるなど、地域コミュニティの強化等に貢献した。  
子供会と活動を共にしたことで、都市住民の方が自治消防団に加入してくれた
- ・ 組織運営の円滑化  
⇒ 法面の草刈りや水門のごみ浚いなどの農地維持管理等の作業は男性が農村の環境保全活動などは女性が中心となり、それぞれの得意分野を担当することで、お互いの良い面を引き出し良好な関係を築いている。  
又、農地維持管理作業など終了時には年に数回、日当から会費を徴収し親睦会を開催している。女性陣の手料理がテーブルに花を添え楽しい時間を過ごすことで次への活動に繋がっている

## 4. 活動の成果と今後の目標

### ○今後の目標

- ・ 本交付金活動を継続することにより、地域の農業・農村の環境を維持したい。
- ・ 地域の子どもたちに色々な農村文化を体験する機会を提供することで、農業の大切さや地域の良さを理解してもらい、今の取組を次世代に引き継ぎたい。



## 4. 活動の成果と今後の目標

### ○今後の目標

多面的機能支払交付金は地域資源の適切な保全の推進だけでなく  
文化を伝承する機能・癒しや安らぎをもたらす機能・体験学習と教育の機能も掲  
げられています。  
一部地域住民が保存している「天棚」を常設し地域交流の場と維持していきたい。



# ご清聴ありがとうございました



- ・令和2年度 多面的機能発揮促進事業 関東農政局長賞 最優秀賞を受賞しました。